

市議会だより

第 19 号

平成 20 年 (2008) 11 月 15 日発行

発行・飯山市議会
編集：市議会だより
編集委員会

〒 389-2292
長野県飯山市大字飯山 1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-0005
インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp/gikai/>
E-mail:gikai@city.iiyama.nagano.jp

9月定例会 開催される

平成 20 年 9 月定例会は 9 月 2 日から 9 月 22 日までの会期で行われました。

今定例会では、平成 19 年度一般会計・特別会計・事業会計歳入歳出決算議案 14 件、平成 20 年度一般会計補正予算（総額 1 億 3 7 5 万 8 千円）、平成 20 年度特別会計・事業会計補正予算（総額 6 億 5 3 9 2 万 3 千円）の各予算案 13 件、条例の改正案など 8 件の計 35 議案が市長から

提出されました。

9 日から 11 日にかけては、一般質問に 13 名の議員が登壇し、12 日、16 日、17 日に総務・産業建設・社会文教委員会が審議しました。

最終日 22 日には、教育委員会委員の選任に同意し、議案はすべて原案のとおり認定・可決・承認されました。

また、請願 3 件、陳情 1 件を趣旨採択とし、陳情 1 件を採択、1 件を継続審査としました。

一般質問

9 月定例会にて 13 名の議員が一般質問を行いました。

新幹線トンネル工事による水枯れは市の責任で解決を



佐藤正夫議員

【質問】地域の大きな期待を担う新幹線だが、トンネル工事の原因で、水枯れの地域は大変苦勞している。柳原の西山一帯の湧水は、ほとんど枯渇した。農業・生活用水、特に冬の消雪水の欠乏は深刻だ。運輸機構は水田にポンプの設置等適宜に対応してくれるが因果関係は認めない。地元の

努力も成果が出ない。市長は努力していると言うが、地元では、市はどっちを向いているのか、と言う声も出ている。因果関係を認めさせるのは市の責務と考える。市長を先頭に、関係各課の総力を挙げて対処して欲しい。

【市長】私も努力をしており、今年度中に結論を出したい。近々機構の本部へも出かける予定だ。対策をしながら認めないのは理解できない。地元でも要望案をまとめて欲しい。

結果、80 h a もの青刈りをしろと言うが、しっかりと検証する必要がある。青刈りをどのように配分するのか。既に 1 千 h a もの耕作放棄地がある、米しか出来ない当地帯での転作は無理な話だ。市長を先頭に農政運動を強めるべきだ。

【市長】今の国の農政に問題あり。転作できる地帯と同列に考えるのはいかがなものか。農政運動を強め、特に県の中で検討し方向付けするようにしっかりと申し上げていく。農地を守る観点からも農政運動を強く進める。

【部長】青刈りは水田協議会長名で、ビジョン加入者、未加入者公平に協力をお願いした。



今年は天候にも恵まれ稲刈りは順調に進んだ

【部長】簡水は試掘井戸を代替水源に使用することを了解、設計協議に入っている。機構は、田用水の減少と工事の因果関係を認めるのは難しいとして、水紋調査を継続しているが、現に用水の減少は明らかなので委員会と一緒に具体的な方法等、精力的に協議していく。

米の過剰作付け調査の結果と対応は

【質問】今夏の一筆調査の

千円以上徴収した、当市の森林整備状況は。

【部長】本年度は瑞穂北原地区で行う。

【質問】山枯が昨年に続き本年も非常に増加した。被害予防、伐採搬出は森林税を利用してできないか。

【部長】防除にあまり良い薬がないのが現状だ。幹にシート巻き等の方法があるが、大変お金がかかる。カシノナガキクイ虫によつて倒木等が出た場合は、公共に支障がある場合は対応したい。

観光について

【質問】冬期間、スキー場の収入が年々減少して来ている。エージェントの割合が多く安売りが原因と言われているが、市はどのように考えるか。

【市長】行政が行わなければならないところは、今後しっかりと協力していく。富山空港利用の外国人対応等も進めて行きたい。

【質問】国は来年度から、子ども農山村交流プロジェクト事業を、農林水産省、文部科学省、総務省が連携して予算付けをし、モデル地区を選定して、農業体験

千曲川の治水・利水について



大野峰太郎議員

【質問】当地域を水害の被害から守るための、大きな課題である桑名川（2 期工事）、下境築堤の早期完成と事業推進について、本年度の予算額を聞きたい。

【部長】本年度は、2 1 0 m・事業費 6 0 0 0 万円が予定されている。

完成は平成 26 年度の予定。下境については、県事業で、4 0 0 m の内 6 0 m、5 0 0 万円予定されている。【質問】フットパス計画について、単独事業にならないように十分な連携への配慮と検討が必要と考える。ハード面では道路整備等各設置施設の充実と、ソフト面では事業の拡充が図れるように、国・県の柔軟な対応を要請していくことで、それきりで終わらず産業振



堤防の工事が進む桑名川地区

山枯対策に森林税を利用できないか



水野晴光議員

【質問】県は、本年度から森林税を個人 5 百円、法人



自然体験教室の受け入れ（戸狩）

【質問】中学校の統合で体育館が空いてくるが、夏場の民宿利用を検討して欲しい。

【市長】利用できるよう考えていきたい。